

奈良文化女子短期大学 保幼小連携ワーキンググループ  
第18回 議事録

1. 日 時： 平成 22 年 10 月 16 日（土） 11:00～13:10
2. 場 所： 奈良文化女子短期大学 本館 5階（第一演習室）
3. 参加者： 16名
4. 内 容：
  - (1) 前回検討資料の善野改訂版作成資料について
    - ・ 子どもができることを引き出す
    - ・ 教科の目標も明確にしながら、合科的活動を組み立てる
    - ・ 子どもの意欲や安心感を大切にする。
  - (2) 1年生入学後第1週目接続カリキュラム1次案の見直しにて  
大山先生（岐阜）より  
カリキュラム作成の基本は幼稚園の「子どもありき」の考えに立ち返って、子どもから出発する教育とすべきである
  - (3) 改訂作業用のフォーマットに基づき、幼小混合4グループでのワークショップ  
【曜日毎の変更点及びキーワード】
    - 月 トイレの場所(生理的欲求から安全の欲求へ)  
ランドセルの片付け→教科書を手にとってみる→帰りの準備  
学校での生活に慣れる（帰属意識への始まり）  
子どもの気持ち（学習意欲）をくみ取る
    - 火 異学年との交流（始業前の時間運用）  
柔軟な時間（合科的な時間）設定〈生活科〉  
視覚に訴えた明るい雰囲気での進行  
環境構成：机を移動させた広い空間を生かした動きのある授業展開
    - 水 合科的な授業〈生活と図工〉  
遊びから学びへ【遊ぶ・やってみる・子どもから引き出す】  
鉛筆の正しい持ち方  
初めての名前練習から名刺作りへ
    - 木 幼稚園との違い（机の有無による環境の違いに慣れる）  
衣服の着脱  
身体測定から（背比べ）ならびっこへ  
遊びから道具を使った学習へ  
読み聞かせから国語科の学習の入り口へ  
学習への期待をもたせる工夫
5. 次回の予定  
平成 22 年 11 月 20 日（土） 11:00～12:30